

第5章 地域別の緑の方針

地域別の緑の方針における地域区分は、白山市都市計画マスター プランの地域別構想で示される 9 地域を基本としますが、緑の配置状況を踏まえ 8 地域ごとに方針をまとめます。

【地域区分】

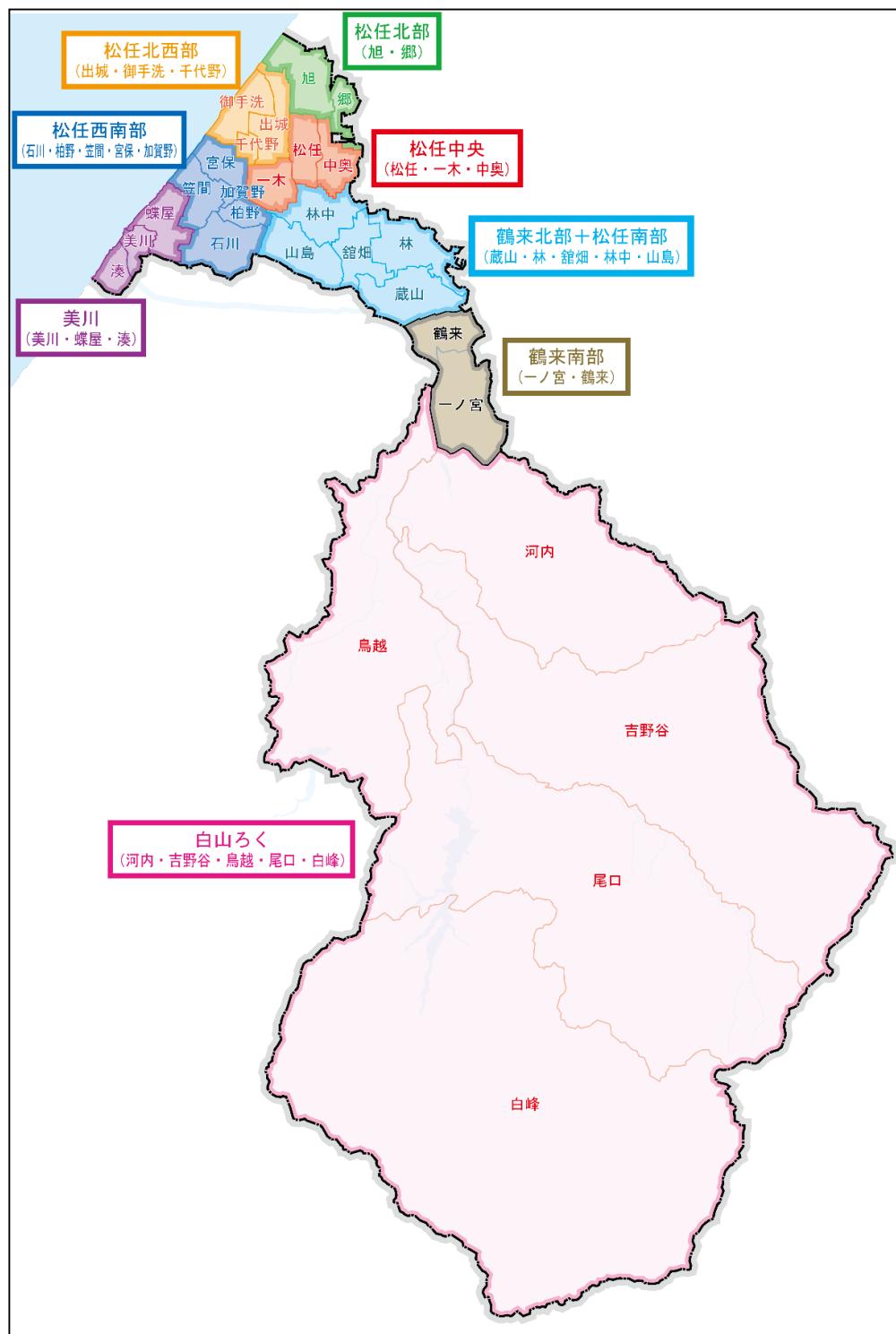
	地域名	構成する地区
1	松任中央地域	松任・一木・中奥
2	松任西南部地域	石川・柏野・笠間・宮保・加賀野
3	松任北西部地域	出城・御手洗・千代野
4	松任北部地域	旭・郷
5	鶴来北部地域+松任南部地域	蔵山・林・館畠・林中・山島
6	美川地域	美川・蝶屋・湊
7	鶴来南部地域	一ノ宮・鶴来
8	白山ろく地域	河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰

地域別の現状を整理するなかで、第 2 次白山市都市計画マスター プラン（令和 2 年 3 月）策定に向けて実施した市民アンケートの結果より、市全体の傾向と比較した地域別の住民意見の傾向を確認します。

■第 2 次白山市都市計画マスター プラン策定に向けたアンケート調査概要

- ・調査対象：市内 9 地域ごとに無作為抽出した 16 歳以上の市内在住者 計 10,000 人
- ・調査方法：郵送による配布、回収
- ・調査期間：平成 29 年 12 月 15 日～12 月 28 日
- ・回 収 数：3,275 票（回収率 33%）

【地域区分】



1. 松任中央地域（松任・一木・中奥）

1) 地域の特徴

- ・本地域は、松任駅を中心として住宅や商業・業務施設が集積した市街地が形成されています。松任駅南側には多くの公共公益施設や商店街があり、北側では新たな市街地が形成されています。
- ・地域の南東部や南西部は市街化調整区域に指定されており、水田を中心とした農地が広がっています。
- ・一部の地域では、地区計画や景観まちづくり協定によって、住宅地や商業地の緑化に関するルールが定められています。
- ・公園緑地の整備状況は、比較的規模の大きな公園である松任総合運動公園や若宮公園や、歴史・文化的な公園である松任城址公園があり、小規模な公園も多く整備されていますことから、身近な公園緑地が充実しています。
- ・市街地を通る主要道路には街路樹等が整備され、彩りのある道路景観を創出しています。

2) 主な緑と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	七ヶ用水
公園緑地	松任城址公園、松任総合運動公園、若宮公園、出城公園、木の実公園、馬場公園、横町児童公園、徳丸児童公園、米永農村公園
ジオ資源	手取川扇状地、松任のまちなみ、七ヶ用水

【松任城址公園】



【若宮公園】



3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（松任中央地域）
まちづくりの方向性	1位	・歩いて暮らせる便利なまちづくり
	2位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	3位	・災害や交通安全・犯罪に強い安全なまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	・歩いて暮らせる便利なまちづくり（+5pt） ・災害や交通安全・犯罪に強い安全なまちづくり（+5pt）
必要な取組	1位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	2位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	3位	・維持管理の充実
	市全体より5pt以上高い項目	-

出典：第2次白山市都市計画マスタープラン策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（松任地域）	子育て世代（松任地域）
身近な公園に必要なこと	幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること	
	緑や花などの自然の豊かさ	緑や花などの自然の豊かさ	
	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	地域のニーズに応じた機能や施設	
大規模公園に必要なこと	緑や花などの自然の豊かさ	発達段階に応じた複合遊具	
	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	
	防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備	

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスタープランやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・都市公園や市民公園において、維持管理が行き届かない施設が顕在化しており、適正な維持管理や施設の充実が求められています。
- ・松任駅周辺は住宅密集地となっており、人為災害に備えたオープンスペースの確保等の検討が必要となっています。
- ・松任駅周辺等においては連続性のある緑や花等による地域景観の魅力向上、その他のエリアでは、白山眺望景観や田園集落景観の保全が求められています。
- ・松任総合運動公園、若宮公園の施設の維持・充実が求められています。

- ・アンケートでは、地域が望むまちの方向性として「歩いて暮らせる便利なまち」「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」「災害や交通安全・犯罪に強い安全なまち」、必要な取組には「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」「日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり」等が上位項目に挙げられ、「歩いて暮らせる便利なまち」「災害や交通安全・犯罪に強い安全なまち」は市全体の結果に比べ5ポイント以上高く、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「自然の豊かさ」、「誰もが楽しめること」「防災機能の充実」「芝生広場の整備」等が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・都市公園や市民公園等の適正な維持管理に努め、日常的な利用の満足度の向上を目指します。
- ・西川通りの桜並木等の街路樹や植栽帯の適正な維持管理に努め、魅力ある道路空間を創出します。
- ・公共施設において、駐車場や壁面等の緑化を推進します。
- ・七ヶ用水やその他の水路は、施設を維持し、うるおいある環境を保全します。

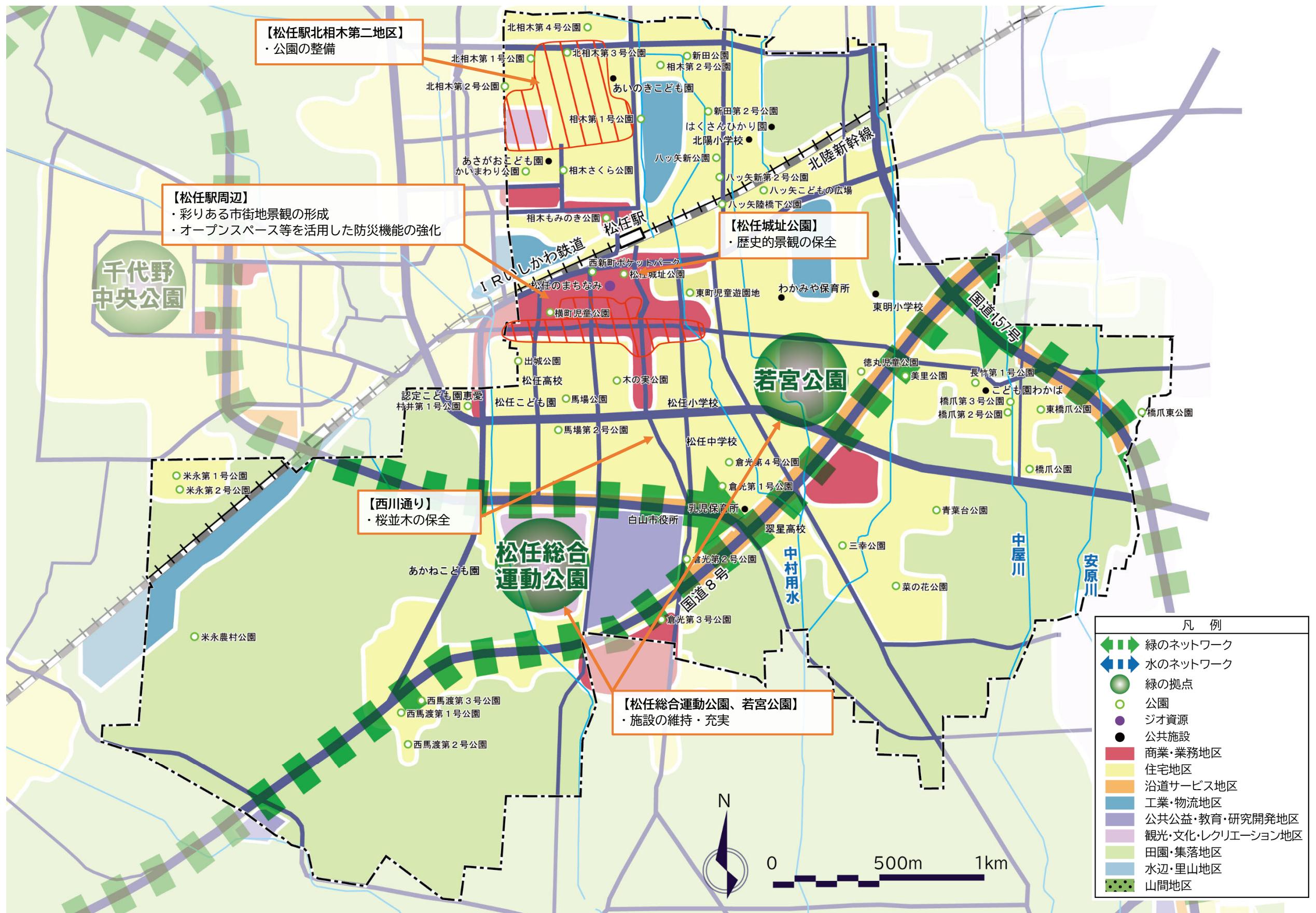
基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・若宮公園を含む日常的な利用を目的とした公園緑地については、配置や利用状況に応じて、機能再編や統廃合の検討を行います。
- ・松任総合運動公園は、市民のレクリエーション活動の広域的な拠点となる公園として、施設の維持・充実に努めます。
- ・松任城址公園は、引き続き歴史的景観の保全や市街地におけるまとまった緑として維持管理に努めます。
- ・松任駅周辺において、オープンスペースや既存公園を活用し、防災機能を強化します。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・市民公園管理協定による地域住民の維持管理活動を継続し、地域コミュニティや身近な緑への愛着を醸成します。
- ・地域住民や企業に対して、アダプト制度や花いっぱい運動等の各種取組により民有地や公共空間の緑化を奨励し、良好な環境や景観の創出を図ります。

6) 地域方針図



2. 松任西南部地域（石川・柏野・笠間・宮保・加賀野）

1) 地域の特徴

- ・本地域は、大部分が市街化調整区域に指定され、水田を中心とした農地が広がっています。加賀笠間駅周辺は住宅地となっているほか、田園地域の中にも集落が点在しています。
- ・地域北西部や国道8号沿いには工業団地が立地しています。
- ・一部の地域では、地区計画や景観まちづくり協定によって、住宅地や工業団地の緑化に関するルールが定められています。
- ・公園緑地の整備状況は、都市公園は整備されていませんが、市民公園が工業団地や住宅団地に整備されています。

2) 主な緑と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	日本海、大慶寺川、七ヶ用水
公園緑地	石立農村公園、北島農村公園、柏野農村公園
ジオ資源	手取川扇状地、七ヶ用水、島集落

【島集落】



【北島農村公園】



出典：白山手取川ジオパーク推進協議会

3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（松任西南部地域）
まちづくりの方向性	1位	・歩いて暮らせる便利なまちづくり
	2位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	3位	・災害や交通安全・犯罪に強い安全なまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	-
必要な取組	1位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	2位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	3位	・維持管理の充実
	市全体より5pt以上高い項目	-

出典：第2次白山市都市計画マスタープラン策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（松任地域）	子育て世代（松任地域）
身近な公園に必要なこと	幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること	
	緑や花などの自然の豊かさ	緑や花などの自然の豊かさ	
	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	地域のニーズに応じた機能や施設	
大規模公園に必要なこと	緑や花などの自然の豊かさ	発達段階に応じた複合遊具	
	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	
	防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備	

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスタープランやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・市民公園において、維持管理が行き届かない施設が顕在化しており、地域ニーズに合わせた適正配置と維持管理や施設の充実が求められています。
- ・担い手不足や高齢化、従事者の減少等に伴い、農地の荒廃が拡大しています。
- ・河川や七ヶ用水、その他の水路の施設維持、海岸環境・景観を保全していく必要があります。
- ・白山眺望景観や田園・河川・海岸環境など、美しい自然景観を保全していく必要があります。

- ・アンケートでは、地域が望むまちの方向性として「歩いて暮らせる便利なまち」「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」「災害や交通安全・犯罪に強い安全なまち」、必要な取組には「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」「日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり」等が上位項目に挙げられ、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「自然の豊かさ」、「誰もが楽しめること」「防災機能の充実」「芝生広場の整備」等が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・小規模公園の適正な維持管理を行います。
- ・地域西部の海岸において、適切な侵食対策や防風林の保全に努めます。
- ・河川や七ヶ用水は、施設の維持や河川改修等により、うるおいある空間形成や浸水被害の軽減に努めます。
- ・優良農地を保全し、魅力的な田園集落景観や白山眺望景観を形成します。

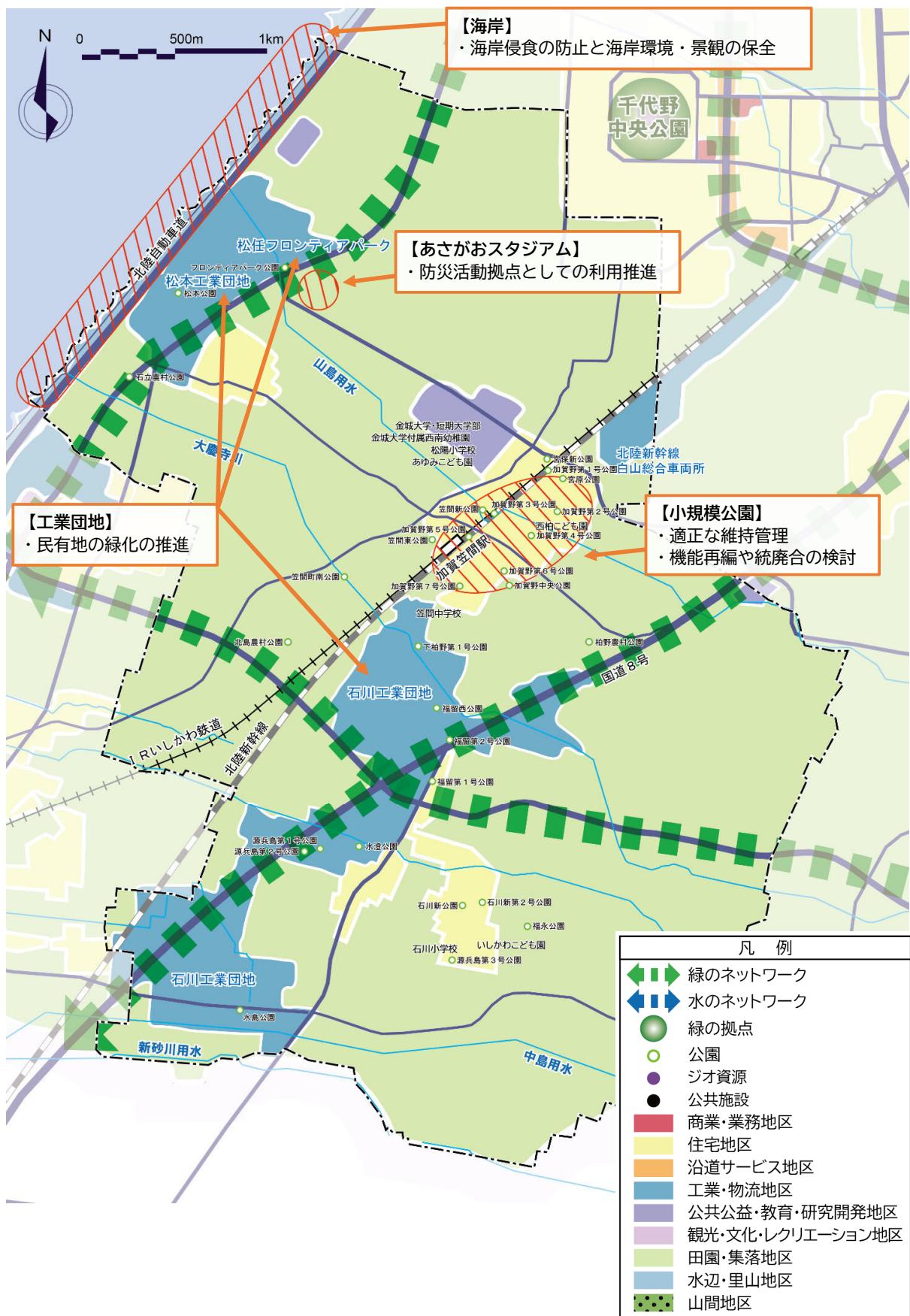
基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・日常的な利用を目的とした公園緑地については、配置や利用状況に応じて、機能再編や統廃合の検討を行います。
- ・防災機能を備えるあさがおスタジアムは、スポーツだけでなく市民の防災活動拠点としても利用を推進します。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・市民公園管理協定による地域住民の維持管理活動を継続し、地域コミュニティや身近な緑への愛着を醸成します。
- ・企業に対して工場周辺や公共空間の緑化を奨励し、良好な環境や景観の創出を図ります。

6) 地域方針図



3. 松任北西部地域（出城・御手洗・千代野）

1) 地域の特徴

- ・本地域は、地域南部の千代野地区や北安田町、成町に住宅を中心とした市街地を形成しています。
- ・令和6年に西松任駅が開業し、今後も住宅や店舗等の増加が見込まれます。
- ・地域の中央から北部にかけては市街化調整区域に指定されており、水田を中心とした農地が広がっているほか、地域北部の北陸自動車道沿線には工業団地が複数立地しています。
- ・一部の地域では、緑化協定、地区計画や景観まちづくり協定によって、住宅地の緑化に関するルールが定められています。
- ・地域北部には竹松海岸ハマナス群生地があり、天然記念物に指定されています。
- ・公園緑地の整備状況は、開発された住宅地には多数の都市公園や市民公園が整備されており、身近な緑が充実しています。
- ・市街地を通る主要道路や北陸自動車道には街路樹等が整備され、彩りのある道路景観を創出しています。

2) 主な緑と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	日本海、徳光海水浴場、倉部川、大川、七ヶ用水
公園緑地	松任海浜公園（松任C.C.Z）、千代野中央公園、千代野第1号公園、千代野第2号公園、千代野第3号公園、千代野第4号公園、千代野第5号公園、千代野第6号公園、千代野第7号公園、徳光農村公園
ジオ資源	手取川扇状地、七ヶ用水、白山海岸と砂丘

【松任海浜公園】



【千代野中央公園】



出典:白山手取川ジオパーク推進協議会

3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（松任北西部地域）
まちづくりの方向性	1位	・歩いて暮らせる便利なまちづくり
	2位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	3位	・災害や交通安全・犯罪に強い安全なまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	・歩いて暮らせる便利なまちづくり (+6pt)
必要な取組	1位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	2位	・維持管理の充実
	3位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	市全体より5pt以上高い項目	-

出典：第2次白山市都市計画マスタープラン策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（松任地域）	子育て世代（松任地域）
身近な公園に必要なこと	幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること	
	緑や花などの自然の豊かさ	緑や花などの自然の豊かさ	
	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	地域のニーズに応じた機能や施設	
大規模公園に必要なこと	緑や花などの自然の豊かさ	発達段階に応じた複合遊具	
	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	
	防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備	

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスタープランやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・都市公園や市民公園において、維持管理が行き届かない施設が顕在化しており、地域ニーズに合わせた適正配置と維持管理や施設の充実が求められています。
- ・北安田地区は連続性のある緑や花を設け、千代野地区は街路樹の適正管理を行うことで地域景観の魅力向上が期待できます。
- ・担い手不足や高齢化、従事者の減少等に伴い、農地の荒廃が拡大しています。
- ・松任海浜公園の計画的な整備・拡充が必要です。
- ・河川や七ヶ用水、その他の水路の施設維持、海岸環境を保全していく必要があります。

- ・白山眺望景観や田園・河川・海岸環境など、美しい自然景観を保全していく必要があります。
- ・竹松海岸ハマナス群生地やホタルの生息地等の自然環境の保全が求められています。
- ・アンケートでは、地域が望むまちの方向性として「歩いて暮らせる便利なまち」「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」「災害や交通安全・犯罪に強い安全なまち」、必要な取組には「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」「維持管理の充実」等が上位項目に挙げられ、「歩いて暮らせる便利なまち」は市全体の結果に比べ5ポイント以上高く、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「誰もが楽しめること」、「自然の豊かさ」「防災機能の充実」「芝生広場の整備」が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・都市公園や市民公園等の適正な維持管理に努め、日常的な利用の満足度の向上を目指します。
- ・街路樹や植栽帯の適正な維持管理に努め、魅力ある道路空間を創出します。
- ・公共施設において、駐車場や壁面等の緑化を推進します。
- ・地域北西部の海岸において、適切な侵食対策や防風林保全に努めます。
- ・河川や七ヶ用水は、施設の維持や河川改修等により、うるおいある空間形成や浸水被害の軽減に努めます。

基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・日常的な利用を目的とした公園緑地については、配置や利用状況に応じて、機能再編や統廃合の検討を行います。
- ・松任海浜公園は、レクリエーション施設の適正な維持管理により長寿命化を図るほか、広域的な利用を見込み整備・充実に努めます。
- ・竹松海岸のハマナス群生地は、本市の平野部における自然資源として貴重であり、積極的に保全します。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・市民公園管理協定による地域住民の維持管理活動を継続し、地域コミュニティや身近な緑への愛着を醸成します。
- ・地域住民や企業に対して、アダプト制度や花いっぱい運動等の各種取組により民有地や公共空間の緑化を奨励し、良好な環境や景観の創出を図ります。

6) 地域方針図



4. 松任北部地域（旭・郷）

1) 地域の特徴

- ・本地域は、地域北西部の海岸沿いでは畠が、その他の市街化調整区域では水田が多く広がっています。
- ・北陸自動車道白山 IC の周辺で広く工業団地が広がっており、近年は商業施設も立地しています。また、地域南部は住宅地となっています。
- ・地域北部の一部は保安林や国指定史跡の東大寺領横江莊遺跡があり、法制度によって保護されている緑となっています。
- ・一部の地域では、地区計画によって、住宅地や工業地等の緑化に関するルールが定められています。
- ・公園緑地の整備状況は、都市公園は整備されていませんが、市民公園が工業団地や住宅地に整備されています。

2) 主な緑と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	日本海、倉部川、屋越川、安原川、七ヶ用水
公園緑地	横江莊史跡公園、八田農村公園
ジオ資源	手取川扇状地、七ヶ用水、白山海岸と砂丘、東大寺領横江莊遺跡

【横江莊史跡公園】



【八田農村公園】



出典:うらら白山人 HP

3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（松任北部地域）
まちづくりの方向性	1位	・歩いて暮らせる便利なまちづくり
	2位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	3位	・災害や交通安全・犯罪に強い安全なまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	・歩いて暮らせる便利なまちづくり (+6pt)
必要な取組	1位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	2位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	3位	・休日に家族で過ごせる大きな公園づくり
	市全体より5pt以上高い項目	-

出典：第2次白山市都市計画マスタープラン策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（松任地域）	子育て世代（松任地域）
身近な公園に必要なこと	幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること	
	緑や花などの自然の豊かさ	緑や花などの自然の豊かさ	
	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	地域のニーズに応じた機能や施設	
大規模公園に必要なこと	緑や花などの自然の豊かさ	発達段階に応じた複合遊具	
	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	
	防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備	

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスタープランやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・都市公園や市民公園において、維持管理が行き届かない施設が顕在化しており、適正な維持管理や施設の充実が求められています。
- ・担い手不足や高齢化、従事者の減少等に伴い、農地の荒廃が拡大しています。
- ・河川や七ヶ用水、その他の水路の施設維持、海岸環境を保全していく必要があります。
- ・白山眺望景観や田園・河川・海岸環境など、美しい自然景観を保全していく必要があります。
- ・横江荘史跡公園の保全・活用が求められています。

- ・アンケートでは、地域が望むまちの方向性として「歩いて暮らせる便利なまち」「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」「災害や交通安全・犯罪に強い安全なまち」、必要な取組には「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」「維持管理の充実」等が上位項目に挙げられ、「歩いて暮らせる便利なまち」は市全体の結果に比べ5ポイント以上高く、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「誰もが楽しめること」、「自然の豊かさ」「防災機能の充実」「芝生広場の整備」が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・小規模公園の適正な維持管理を行います。
- ・優良農地を保全し、田園集落景観を保全します。
- ・地域内を流れる河川や七ヶ用水は浸水被害を防ぐとともに、良好な河川環境を創出するための整備を促進します。また、倉部川周辺の景観や海岸沿いについては、その良好な自然景観の保全・再生を促進します。
- ・地域北西部の海岸において、適切な侵食対策や防風林の保全に努めます。

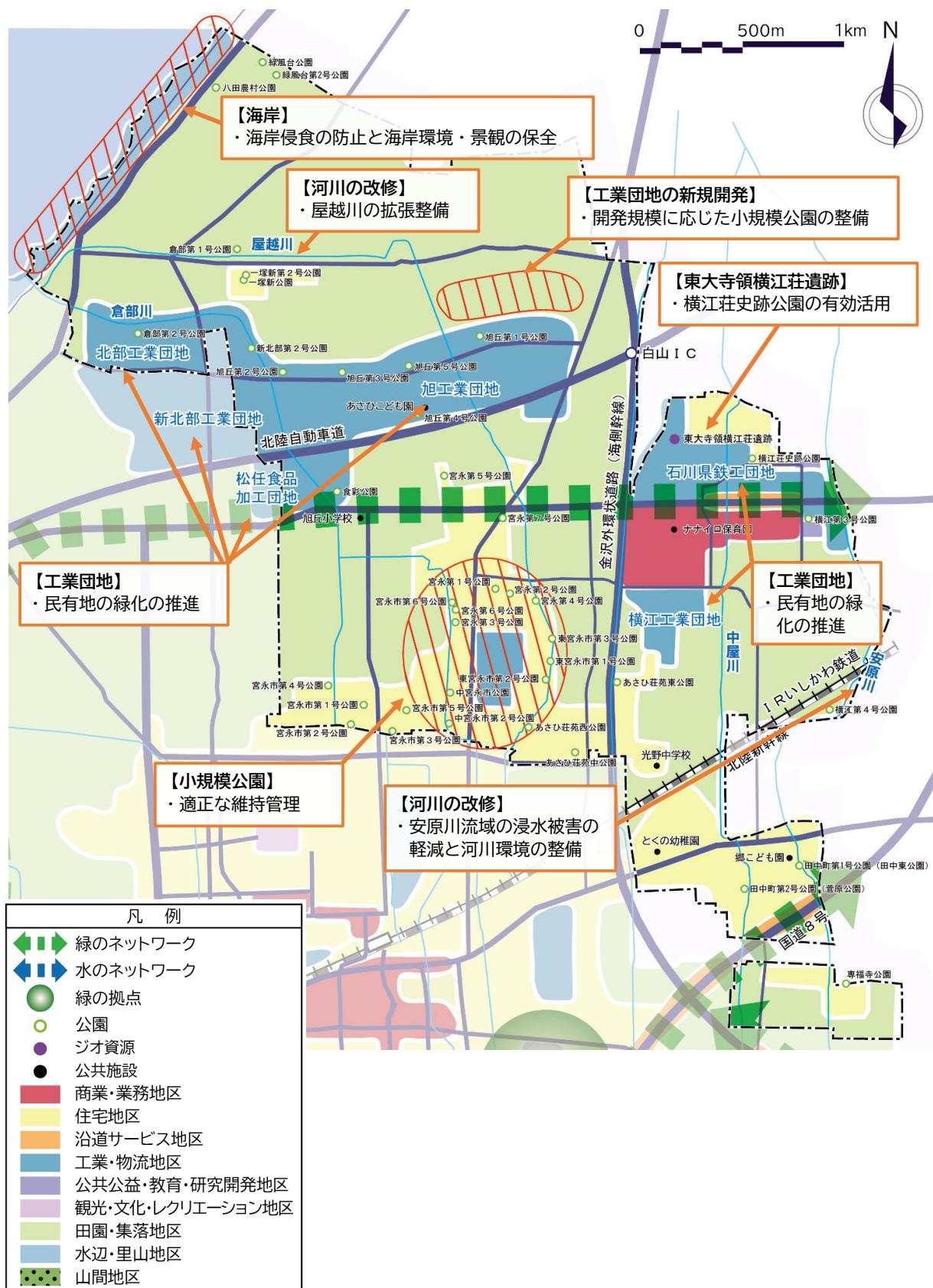
基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・八田農村公園については、自然を活かした公園として、今後も適正な維持管理に努めます。
- ・東大寺領横江荘遺跡について、適正な維持管理に努めます。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・市民公園管理協定による地域住民の維持管理活動を継続し、地域コミュニティや身近な緑への愛着を醸成します。
- ・企業に対して工場周辺や公共空間の緑化を奨励し、良好な環境や景観の創出を図ります。

6) 地域方針図



5. 鶴来北部地域+松任南部地域（蔵山・林・館畠・林中・山島）

1) 地域の特徴

- ・本地域は、地域西部の大部分が市街化調整区域に指定され、水田を中心とした農地が広がっています。加賀産業開発道路、国道 157 号沿道や北陸鉄道石川線の駅周辺に住宅や工場が立地しています。
- ・地域東部は緑豊かな山林となっているほか、地域南部には手取川が流れています。潤いある空間を形成しています。地域内にはホタルが生息するなど、良好な自然環境が残されています。
- ・一部の地域では、地区計画によって、住宅地等の緑化に関するルールが定められています。
- ・公園緑地の整備状況は、開発された住宅地や鶴来の市街地において市民公園が多く整備されています。

2) 主な緑と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	手取川、高橋川、七ヶ用水
公園緑地	松任グリーンパーク、富光寺第1号公園、富光寺第2号公園、山島多目的広場、蔵山農村広場、林農村公園、館畠ふれあい広場
ジオ資源	手取川扇状地、七ヶ用水、島集落

【松任グリーンパーク】



【山島多目的広場】



出典:うらら白山人 HP

3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（鶴来北部地域+松任南部地域）
まちづくりの方向性	1位	・歩いて暮らせる便利なまちづくり
	2位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	3位	・災害や交通安全・犯罪に強い安全なまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	-
必要な取組	1位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	2位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	3位	・休日に家族で過ごせる大きな公園づくり
	市全体より5pt以上高い項目	・休日に家族で過ごせる大きな公園づくり(+5pt)

出典：第2次白山市都市計画マスタープラン策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（鶴来地域）	子育て世代（鶴来地域）
身近な公園に必要なこと	幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること	
	緑や花などの自然の豊かさ	地域のニーズに応じた機能や施設	
	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	
大規模公園に必要なこと	緑や花などの自然の豊かさ	発達段階に応じた複合遊具	
	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	
	防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備	

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスタープランやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・都市公園や市民公園において、維持管理が行き届かない施設が顕在化しており、地域ニーズに合わせた適正配置と維持管理や施設の充実が求められています。
- ・手取川や七ヶ用水等の河川空間や緑豊かな自然環境を保全していく必要があります。
- ・ホタル等が生息する自然環境の保全が求められています。
- ・白山眺望景観や田園・河川など、美しい自然景観を保全していく必要があります。
- ・松任グリーンパークの維持・充実が必要となっています。

- ・アンケートでは、地域が望むまちの方向性として「歩いて暮らせる便利なまち」「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」「災害や交通安全・犯罪に強い安全なまち」、必要な取組には「日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり」「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」等が上位項目に挙げられ、「休日に家族で過ごせる大きな公園づくり」は市全体の結果に比べ5ポイント以上高く、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「誰もが楽しめること」、「自然の豊かさ」「防災機能の充実」「芝生広場の整備」が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・小規模公園の適正な維持管理を行うほか、新たに開発を進めている地区においては、開発の規模に応じた新たな小規模公園の整備を促進します。
- ・優良農地を保全し、田園集落景観や山間地景観を保全します。
- ・地域東部の緑豊かな山間地は、土石流や地すべり等の防災対策を促進しつつ、森林の適正な維持管理に取り組みます。
- ・河川や用水は、施設の維持や河川改修等により、うるおいある空間形成や災害の防止と低減に努めます。また、親水機能を持つ遊歩道等を整備し、用水路の活用により緑と水のネットワークを形成します。

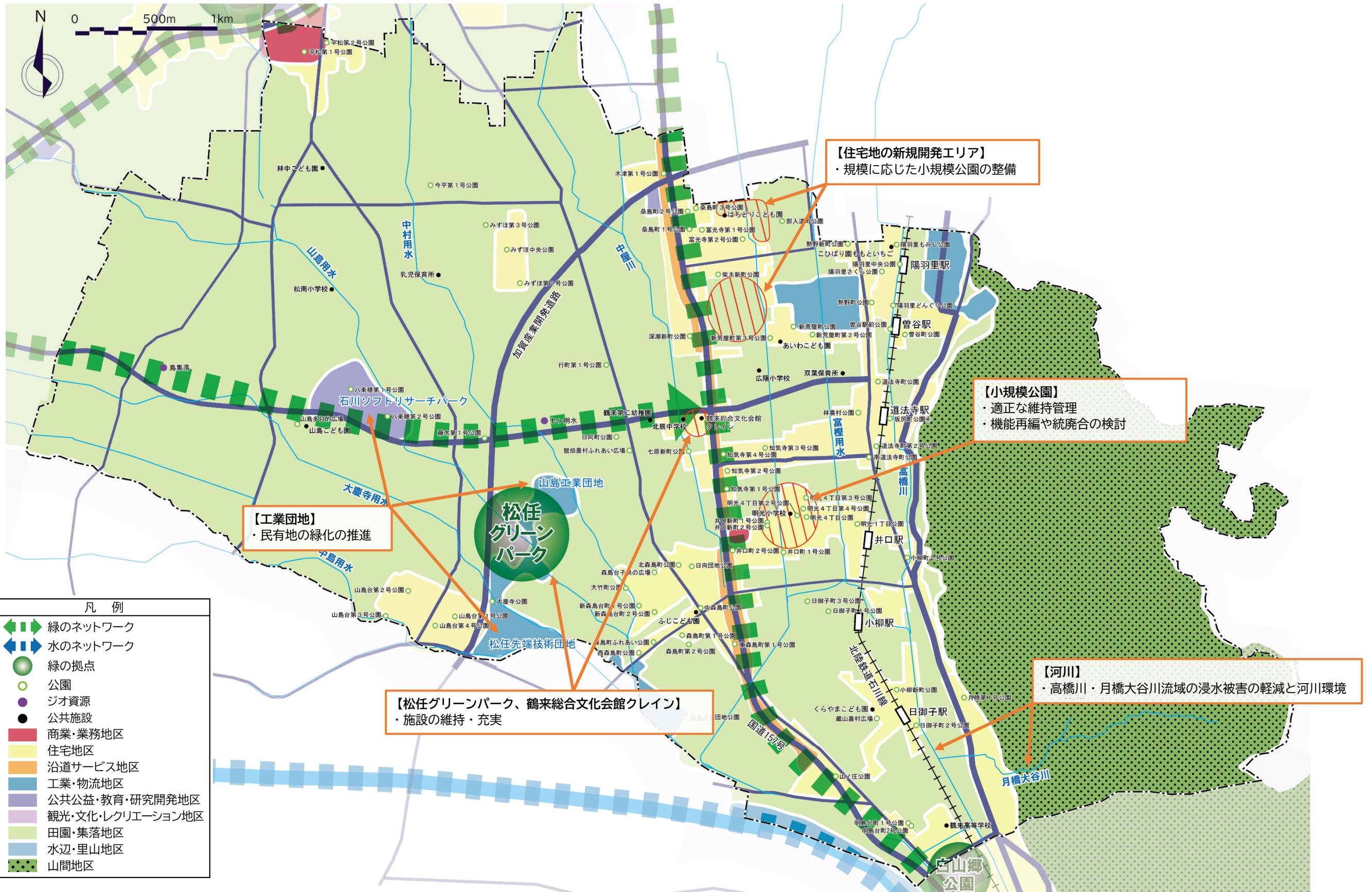
基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・日常的な利用を目的とした公園緑地については、配置や利用状況に応じて、機能再編や統廃合の検討を行います。
- ・松任グリーンパークや鶴来総合文化会館クレインは、地域住民の憩いの場だけでなく、多様な人々の交流や健康づくりの拠点として、施設の維持・充実に努めます。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・市民公園管理協定による地域住民の維持管理活動を継続し、地域コミュニティや身近な緑への愛着を醸成します。
- ・田園や森林など、豊かな自然を守り育てていくために、市民の理解・協力による自然環境の保全や再生を図ります。

6) 地域方針図



6. 美川地域（美川・蝶屋・湊）

1) 地域の特徴

- ・本地域は、美川駅、小舞子駅や美川 IC 周辺に住宅地や工業団地が広く立地し、市街地を形成しています。その他は市街化調整区域であり、水田を中心とした農地となっています。
- ・手取川やその支流の河川が複数流れており、トミヨの生息地として環境保護に取り組むなど、潤いある空間を形成しています。
- ・一部の地域では、地区計画や景観まちづくり協定によって、住宅地の緑化に関するルールが定められています。
- ・公園緑地の整備状況は、市街地に都市公園や市民公園が多数配置され、手取公園であることから、身近な緑が充実しています。

2) 主な緑と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	手取川、安産川、西川、熊田川、小舞子海岸、七ヶ用水
公園緑地	手取公園、アプリコットパーク、鹿島児童公園、ひばり野児童公園、呉竹児童公園、小舞子公園、ミレニアムパーク
ジオ資源	手取川扇状地、美川のまちなみ、七ヶ用水、白山美川伏流水群

【手取公園】



出典:石川県 HP

【白山美川伏流水群】



出典:白山手取川ジオパーク推進協議会

3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（美川地域）
まちづくりの方向性	1位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	2位	・歩いて暮らせる便利なまちづくり
	3位	・地域みんなで協力しあうまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	-
必要な取組	1位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	2位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	3位	・維持・管理の充実
	市全体より5pt以上高い項目	-

出典：第2次白山市都市計画マスターplan策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（美川地域）	子育て世代（美川地域）
身近な公園に必要なこと	幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること	
	緑や花などの自然の豊かさ	地域のニーズに応じた機能や施設	
	防災機能の充実	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	
大規模公園に必要なこと	緑や花などの自然の豊かさ	発達段階に応じた複合遊具	
	防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備	
	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること/発達段階に応じた複合遊具	アウトドア施設の整備	

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスターplanやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・都市公園や市民公園において、維持管理が行き届かない施設が顕在化しており、適正な維持管理や施設の充実が求められています。
- ・河川や七ヶ用水、その他の水路の施設維持、海岸環境を保全していく必要があります。
- ・白山眺望景観や田園・河川・海岸環境など、美しい自然景観を保全していく必要があります。
- ・手取川河口部は浸水のリスクが指摘されており、防災機能の向上が求められています。

- ・アンケートでは、地域が望むまちの方向性として「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」「歩いて暮らせる便利なまち」「地域みんなで協力しあうまち」、必要な取組には「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」「日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり」等が上位項目に挙げられ、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「自然の豊かさ」「誰もが楽しめること」「防災機能の充実」「芝生広場・アウトドアの整備」が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・小規模公園の適正な維持管理を行います。
- ・地域西部の海岸において、適切な侵食対策や防風林の保全に努めます。
- ・河川や七ヶ用水は、施設の維持や河川改修等により、うるおいある空間形成や浸水被害の軽減に努めます。
- ・優良農地を保全し、魅力的な田園集落景観や白山眺望景観を形成します。

基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・小舞子公園やアリコットパークなど、中規模な公園は豊かな自然とふれあえる公園として、ミレニアムパークは、ボストンガーデンの核となる公園として、施設の維持・充実を進めます。
- ・手取公園や小舞子公園等は、周辺の豊かな自然を活かし、市民の交流やスポーツ・レクリエーションの拠点として維持・充実に努めます。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・市民公園管理協定による地域住民の維持管理活動を継続し、地域コミュニティや身近な緑への愛着を醸成します。
- ・地域住民や企業に対して、アダプト制度や花いっぱい運動等の各種取組により民有地や公共空間の緑化を奨励し、良好な環境や景観の創出を図ります。

6) 地域方針図



7. 鶴来南部地域（一ノ宮・鶴来）

1) 地域の特徴

- ・本地域は、西に手取川、東に山林が広がっており、挟まれた地域が市街地となっています。市街地は主に住宅ですが、鶴来駅周辺では、商業地もみられます。
- ・一部の地域では、地区計画や景観まちづくり協定によって、住宅地の緑化に関するルールが定められています。
- ・山林は、主に保安林や地域森林計画対象民有林となっており、計画的に整備され、保全されています。
- ・公園緑地の整備状況は、市街地に都市公園や市民公園が整備されており、山間部には林業試験場の樹木公園が整備されています。
- ・獅子吼高原や手取キャニオンロードなど、レクリエーションを楽しめる場所も整備され、獅子吼高原からは、手取川扇状地や白山ろくの山並みを眺めることができ、本市の代表的な景観となっています。
- ・安久瀬の渓や白山比咩神社など、ジオパークを構成するジオ資源が多数存在し、文化や歴史に関連する縁が豊富となっています。

2) 主な縁と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	手取川、高橋川
公園緑地	白山郷公園、大国公園、岩清水公園、古宮公園、十八河原公園、舟岡山公園、樹木公園、獅子吼・手取県立自然公園
ジオ資源	手取川扇状地、鶴来のまちなみ、舟岡山、安久瀬の渓と手取川七ヶ用水、獅子吼高原、白山比咩神社

【獅子吼高原】



出典:白山手取川ジオパーク推進協議会

【古宮公園】



出典:うらら白山人 HP

3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（鶴来南部地域）
まちづくりの方向性	1位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	2位	・歩いて暮らせる便利なまちづくり
	3位	・定住人口が増加した活気のあるまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	・歴史や文化を活かした魅力あるまちづくり (+9pt) ・定住人口が増加した活気のあるまちづくり (+7pt)
必要な取組	1位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	2位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	3位	・維持・管理の充実
	市全体より5pt以上高い項目	・歴史・文化を活用した公園や緑地づくり (+7pt) ・維持・管理の充実 (+5pt)

出典：第2次白山市都市計画マスターplan策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（鶴来地域）	子育て世代（鶴来地域）
身近な公園に必要なこと	幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること	
	緑や花などの自然の豊かさ	地域のニーズに応じた機能や施設	
	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること	
大規模公園に必要なこと	緑や花などの自然の豊かさ	発達段階に応じた複合遊具	
	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること	
	防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備	

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスターplanやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・都市公園や市民公園において、維持管理が行き届かない施設が顕在化しており、適正な維持管理や施設の充実が求められています。
- ・担い手不足や高齢化、従事者の減少等に伴い、農地や里山の荒廃が拡大しています。
- ・舟岡山城跡や白山比咩神社等の歴史・文化資源の保全と活用が求められています。
- ・手取川や七ヶ用水等の河川空間や緑豊かな山間地等の自然環境を保全していく必要があります。
- ・良好な山間地景観や田園景観を保全していく必要があります。

- ・アンケートでは、地地域が望むまちの方向性として「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」「歩いて暮らせる便利なまち」「定住人口が増加した活気のあるまち」、必要な取組には「日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり」「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」等が上位項目に挙げられ、「歴史や文化を活かした公園緑地づくり」「維持管理の充実」等は市全体の結果に比べ5ポイント以上高く、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「自然の豊かさ」「誰もが楽しめること」「防災機能の充実」「芝生広場・アウトドアの整備」が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・小規模公園の適正な維持管理を行います。
- ・緑豊かな山間地は、土石流や地すべり等の防災対策を促進しつつ、森林の適正な維持管理に取り組みます。
- ・手取川等の河川では、施設の維持や河川改修等により、うるおいある空間形成や災害の防止に努めます。
- ・優良農地を保全し、遊休農地を解消することで、魅力的な田園集落景観や白山眺望景観を形成します。
- ・金劔宮の社叢林の保全に努めます。

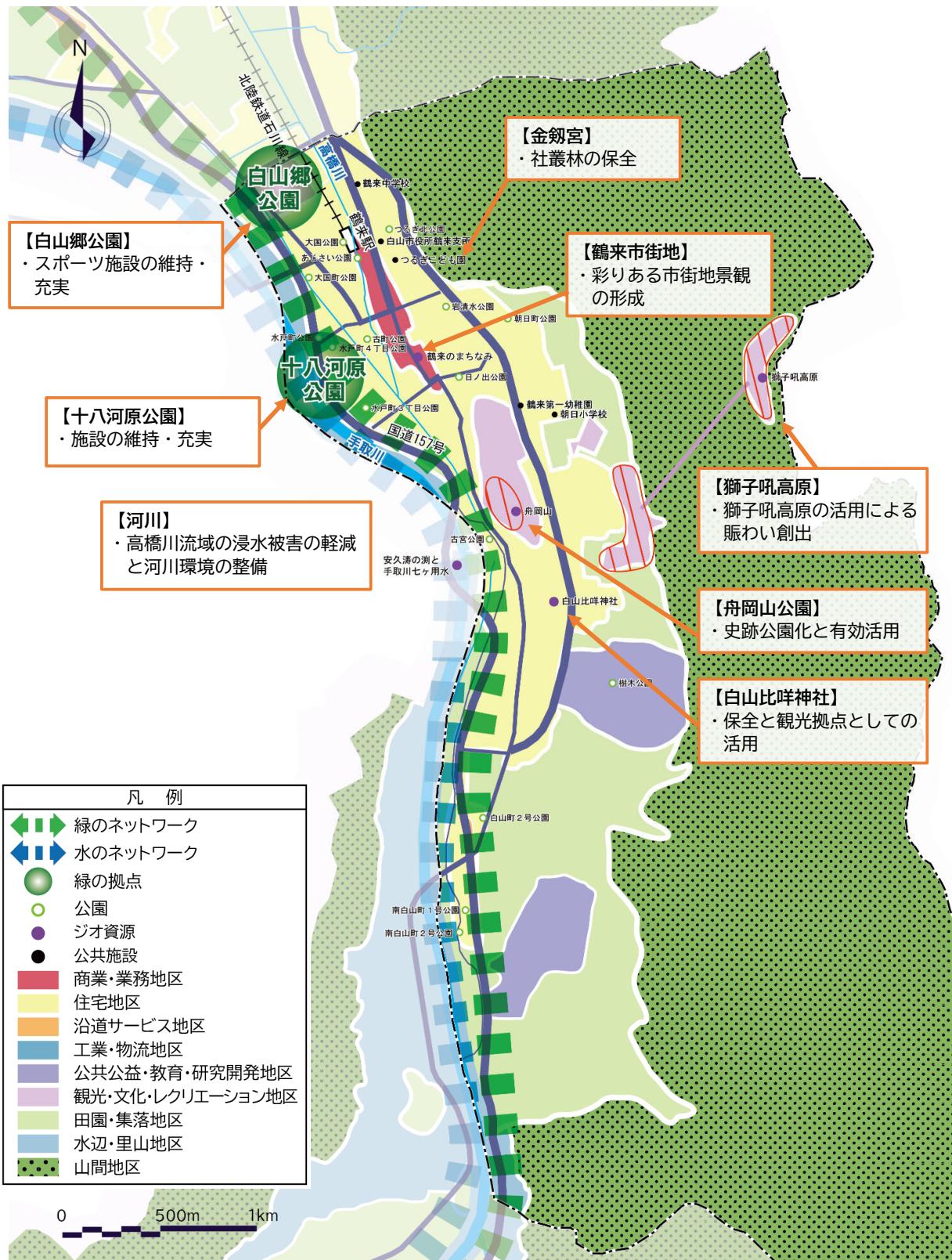
基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・十八河原公園は、多くの市民が訪れる豊かな自然と触れ合える公園として、施設の維持・充実を図ります。
- ・舟岡山城跡や白山比咩神社は、歴史・文化資源として整備・保存に努めるとともに、有効活用を図ります。
- ・白山郷公園内のスポーツ施設は、維持・充実に努め、市民が快適にスポーツを楽しめる環境づくりを行います。
- ・獅子吼高原からの眺望を保全するため、良好な景観づくり賑わい創出を行います。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・市民公園管理協定による地域住民の維持管理活動を継続し、地域コミュニティや身近な緑への愛着を醸成します。
- ・豊かな自然を守り育てていくために、市民の理解・協力による自然環境の保全や再生を図ります。

6) 地域方針図



8. 白山ろく地域（河内・吉野谷・鳥越・尾口・白峰）

1) 地域の特徴

- ・本地域は大部分が山林で占められ、手取川及びその支流が山間を流れています。
- ・全域が都市計画区域外に位置し、各地区では幹線道路沿いに小規模な市街地や集落が形成されています。一部の平地では、水田や畠地等の農地利用がみられます。
- ・山林は、主に保安林や地域森林計画対象民有林となっており、計画的に整備・保全されています。白山をはじめとする山々の登山道や、白山セイモアスキー場・白山一里野温泉スキー場が整備されており、年間を通じて山に親しむことができます。
- ・公園緑地の整備状況は、広域公園として白山ろくテーマパークが整備されており、地域外からも利用が多くあります。
- ・ジオパークを構成するジオ資源が最も多い地域であり、大自然の風景や大地を感じられる貴重な地質遺産となっています。

2) 主な緑と水の資源

項目	主な資源
海岸・河川	手取川、直海谷川、瀬波川、大日川、尾添川、大道谷川
公園緑地	白山ろくテーマパーク（県）、白山国立公園、白山一里野県立自然公園、獅子吼・手取県立自然公園、あいふれあい公園、鳥越農村公園
ジオ資源	明神壁、鳥越城跡、二曲城跡、吉野十景、綿ヶ滝、手取峡谷、五十谷の大スギ、瀬戸の夜泣きイチョウ、岩間の噴泉塔群、桑島化石壁、白山高山植物園、太田の大トチノキ、百万貫の岩

【桑島化石壁】



出典:うらら白山人 HP

【手取峡谷】



出典:うらら白山人 HP

3) 主なアンケート調査結果

■まちづくりの方向性と市全体の公園に必要な取組（上位3項目）

項目		市民（白山ろく地域）
まちづくりの方向性	1位	・定住人口が増加した活気のあるまちづくり
	2位	・地域みんなで協力しあうまちづくり
	3位	・医療・保健福祉が充実した人にやさしいまちづくり
	市全体より5pt以上高い項目	・定住人口が増加した活気のあるまちづくり (+28pt) ・地域みんなで協力しあうまちづくり (+13pt) ・自然やレクリエーション施設を活かした観光のまちづくり (+6pt) ・歴史や文化を活かした魅力あるまちづくり (+5pt)
必要な取組	1位	・災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり
	2位	・維持・管理の充実
	3位	・日常の子供の遊び場となる身近な公園や広場づくり
	市全体より5pt以上高い項目	・歴史・文化を活用した公園や緑地づくり (+5pt)

出典：第2次白山市都市計画マスタープラン策定に向けたアンケート調査結果

■身近な公園及び大規模公園に必要なこと（上位3項目）

項目		住民（白山ろく地域）	子育て世代（白山ろく地域）
身近な公園に必要なこと		幼児が安全に遊べること	幼児が安全に遊べること
		緑や花などの自然の豊かさ	地域のニーズに応じた機能や施設
		防災機能の充実	障害の有無などにかかわらずだれもが楽しめること/緑や花などの自然の豊かさ
大規模公園に必要なこと		防災機能の充実	子どもの遊びやグラウンドゴルフができる芝生広場の整備
		カフェの設置など民間活力を利用した公園運営	発達段階に応じた複合遊具
		年齢や障害などによらずだれもが楽しめること/緑や花などの自然の豊かさ	年齢や障害などによらずだれもが楽しめること/緑や花などの自然の豊かさ/カフェの設置など民間活力を利用した公園運営

出典：市民アンケート・子育て世代アンケート調査結果

4) 地域の主な課題

（都市計画マスタープランやこれまでの調査等を踏まえて主な課題を抽出しました）

- ・適正な維持管理や地域ニーズに合わせた適正配置と維持管理や施設の充実が求められています。
- ・白山ろくテーマパークの維持管理や整備の促進、周辺施設との連携・有効活用を進めていく必要があります。

- ・手取川等の河川の浸水被害の軽減と河川環境の整備を推進する必要があります。
- ・白山眺望景観や手取峡谷など、緑豊かな山間地の自然環境の保全と防災対策が求められています。
- ・鳥越城跡や二曲城跡等の歴史文化財の保全が必要です。
- ・里山の荒廃や外来種の拡大等に伴い、生態系の維持や生物多様性の保全が課題となっています。
- ・アンケートでは、地域が望むまちの方向性として「定住人口が増加した活気のあるまち」「地域みんなで協力しあうまち」「医療・保健福祉が充実した人にやさしいまち」、必要な取組には「災害時に避難地や救援拠点として活用できる公園や広場づくり」「維持・管理の充実」等が上位項目に挙げられ、「自然やレクリエーション施設を活かした観光のまち」「歴史や文化を活かした公園緑地づくり」等は市全体の結果に比べ5ポイント以上高く、これらの結果を考慮した取組が求められます。
- ・また、身近な公園や大規模公園には「安全であること」や「自然の豊かさ」「誰もが楽しめること」「防災機能の充実」「芝生広場・アウトドアの整備」が求められています。

5) 主な取組

基本方針1 <守る・つなぐ>白山の大地と暮らしを支える緑の保全・ネットワーク形成

- ・既存公園の適正な維持管理に努めるとともに、空き地等を活用し、地域ニーズに合わせた地域の交流の場を創出します。
- ・緑豊かな山間地は、土石流や地すべり等の防災対策を促進しつつ、森林の適正な維持管理に取り組みます。
- ・優良農地を保全し、遊休農地を解消することで、魅力的な田園集落景観や白山眺望景観を形成します。
- ・手取川等の河川は、災害の防止に努めるとともに、親水空間づくりにより豊かな水環境を形成します。
- ・野生動植物や貴重な高山植物等の保護を推進するとともに、良好な自然環境の保全に努めます。

基本方針2 <活かす>まちの魅力を高め、賑わいや交流を促す緑の活用

- ・白山ろくテーマパークにおける、白山手取川ジオパークの活動の拠点化や未整備区域の早期整備を推進します。
- ・鳥越城跡や二曲城跡の史跡公園の整備・充実や文化財の保全を推進します。
- ・白山国立公園や県立自然公園において、関係機関との連携により自然学習や自然体験等の利活用を推進し、イベントやエコツーリズム等の活用を支援します。

基本方針3 <育む>緑を育む担い手の確保と仕組みづくり

- ・豊かな自然を守り育てていくために、市民の理解・協力による自然環境の保全や再生を図ります。
- ・里山における自然環境の適正な保全・整備のため、地域や民間活動団体等による里山保全活用を支援します。

6) 地域方針図

